



平成 25 年 11 月 13 日

各 位

会社名 株式会社アドテックエンジニアリング
代表者名 代表取締役社長 水野 修
(コード番号：6260 JASDAQ 市場)
問合せ先 常務執行役員 管理本部長 久保 宏之
(TEL：03-3433-4600)

**富士フイルム株式会社からの直描式露光装置事業の譲受
に係る事業譲受契約の締結及び業務提携の解消に関するお知らせ**

平成 25 年 9 月 30 日にお知らせいたしました「富士フイルム株式会社からの直描式露光装置に関する事業の譲受及び業務提携の解消に関する協議開始のお知らせ」のとおり、株式会社アドテックエンジニアリング（本社：東京都港区、代表取締役社長：水野 修、以下、「アドテックエンジニアリング」）は、富士フイルム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：中嶋 成博、以下、「富士フイルム」）との間でプリント配線板向け直描式露光装置の設計・販売・保守に関する事業を譲り受けることに関して協議を進めて参りましたが、平成 25 年 11 月 13 日開催の取締役会において事業譲受契約の締結を決議し、事業譲受期日をもって富士フイルムとの業務提携につき発展的な解消をすることといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 事業譲受及び業務提携解消の理由

アドテックエンジニアリングは富士フイルムとの業務提携に基づき、直描式露光装置の製造受託や海外顧客への販売及び保守サービスの提供により、業容の拡大を図ってまいりました。

一方、富士フイルムにおいては、直描式露光装置の設計及び製造と、国内顧客を中心とした販売及び保守ならびに主要部品である露光エンジンの開発及び製造を行っており、両社は相互の特色を融合させることで互いの事業の発展を図ってまいりました。

今回の事業譲受により、アドテックエンジニアリングは従来からの海外顧客への直描式露光装置の販売に加えて、国内顧客に対する販売及び製造ならびに露光エンジンの開発、製造まで行うことになり、収益性の向上や顧客ニーズへの迅速な対応が可能になるため、富士フイルムからプリント配線板向け直描式露光装置の設計・販売・保守に関する事業を譲り受け、それに伴って富士フイルムとの業務提携を発展的に解消することが、アドテックエンジニアリングの企業価値の向上に資するものであると判断し、今回の決議に至りました。

2. 事業譲受及び業務提携解消の内容

(1) 譲受部門の内容

- ・ 直描式露光装置の設計・販売及び保守
- ・ 直描式露光装置における露光エンジンの開発及び製造

(2) 譲受部門の経営成績

	譲受部門の平成 25 年 3 月期実績	アドテックエンジニアリングの 平成 25 年 9 月期実績（非連結）
売上高	464 百万円（※1）	6,353 百万円
営業利益	98 百万円	△167 百万円

※1 - 譲受部門の売上高は、アドテックエンジニアリング向けの売上高 2,244 百万円を控除した金額です。

(3) 譲受部門の資産、負債の項目及び金額（平成 25 年 9 月末日現在）

資 産		
項 目	帳 簿	価 額
流動資産		1,385 百万円
固定資産		292 百万円
合 計		1,677 百万円

（注）譲受負債はございません。

(4) 譲受価額及び決済方法

譲受価額：約 27 億円（予定）（※2）

決済方法：現金にて決済予定

※2 - 譲受価額は、事業譲受期日の譲受資産の査定結果により変動する可能性があります。また、譲受価額の一部（約 4 億円）は、事業譲受期日から 6 年間における、アドテックエンジニアリングによる直描式露光装置の販売量に応じて最終の支払額が確定します。

(5) 解消する業務提携の内容

- ・ デジタル露光装置（※3）に関する製造委託基本契約（※4）
- ・ デジタル露光装置（※3）に関する独占的販売取引基本契約（韓国）（※4）
- ・ デジタル露光装置（※3）に関する販売取引基本契約（台湾・中国）（※4）

※3 - 上記契約は、第 29 期有価証券報告書の「経営上の重要な契約等」において開示している契約です。なお、「デジタル露光装置」は「直描式露光装置」と同義です。

※4 - 富士フィルムからの事業譲受に伴い上記各契約が解消された後は、アドテックエンジニアリングが、自社の製品として直描式露光装置の製造・販売を行う予定です。

3. 事業譲受及び業務提携解消の相手先の概要

(1)	名 称	富士フィルム株式会社		
(2)	所 在 地	東京都港区西麻布二丁目 26 番 30 号		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 中嶋 成博		
(4)	事 業 内 容	イメージングソリューション及びインフォメーションソリューションの開発、製造、販売、サービス		
(5)	資 本 金	40,000 百万円 (平成 25 年 3 月 31 日現在)		
(6)	設 立 年 月 日	平成 18 年 10 月 2 日		
(7)	大株主及び持株比率	富士フィルムホールディングス株式会社 100.0%		
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
		人 的 関 係	該当事項はありません。	
		取 引 関 係	アドテックエンジニアリングは、富士フィルムと業務提携契約を締結し、直描式露光装置の製造を受託しています。また、富士フィルムから直描式露光装置を購入し、海外顧客への販売及び保守を行っています。	
		関連当事者への該当状況	富士フィルムはアドテックエンジニアリングの関連当事者には該当しません。	
(9)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	平成 23 年 3 月期	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期
	純 資 産	1,295,211 百万円	1,286,005 百万円	1,311,648 百万円
	総 資 産	1,501,442 百万円	1,483,161 百万円	1,455,147 百万円
	売 上 高	692,622 百万円	649,059 百万円	552,013 百万円
	経 常 利 益	61,840 百万円	6,008 百万円	12,434 百万円
	当 期 純 利 益	84,118 百万円	2,038 百万円	14,394 百万円

4. 日 程

(1)	基本合意書の取締役会決議日	平成 25 年 9 月 30 日
(2)	基本合意書締結日	平成 25 年 9 月 30 日
(3)	事業譲受契約の取締役会決議日	平成 25 年 11 月 13 日
(4)	事業譲受契約締結日	平成 25 年 11 月 13 日
(5)	事業譲受期日	平成 26 年 1 月 1 日 (予定)

5. 会計処理の概要

今回の事業譲受は、取得に該当し、のれんが発生する見込みですが、のれんの金額は現時点では未定です。

6. 今後の見通し

今回の事業譲受が平成 26 年 3 月期の業績へ与える影響につきましては現在精査中です。今後公表すべき事項等が明らかになった場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上

(参考) 当期業績予想 (平成 25 年 10 月 31 日公表分) 及び前期実績

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期業績予想 (平成 26 年 3 月期)	3,264	33	17	15
前期実績 (平成 25 年 9 月期)	6,353	△167	△187	△880

(注) 平成 26 年 3 月期は、決算期変更に伴い 6 ヶ月の変則決算となります。